

新狭山保育所

施設の概要

法人名	狭山市
開設時期	昭和48年6月
TEL	04-2954-2300
開所時間	平日 7:00 ~ 19:00 土 7:30 ~ 18:30
所在地	〒350-1302 狭山市東三ツ木300-1
HP	https://www.city.sayama.saitama.jp/kosodate/homeciao/azukeru/hoikusho/sin-cc.html
設備等	駐車場 6台（有料） 駐輪場 6台（無料） 冷暖房 ○ プール ×（水遊び） 園庭 799.38㎡ 動物の飼育 — その他 2階建て



西武新宿線 新狭山駅北口より 徒歩10分

保育・教育概要

保育・教育概要													
対象年齢		11か月～		定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計		
					3	8	10	18	18	18	75		
保育時間	標準時間	平日	7:30	～	18:30	土	7:30					～	18:30
		時間外	7:00	～	7:30	200円/30分 朝・夕いずれか 月額2,000円 朝・夕両方 月額4,000円							
			18:30	～	19:00								
	短時間	平日	8:30	～	16:30	土	8:30					～	16:30
		時間外	7:00	～	7:30	200円/30分							
			18:30	～	19:00								
				7:30	～	8:30	50円/1時間						
	16:30	～	18:30										
★緊急時の時間外保育利用が同月同時間帯において3回に達した場合は、月額料金をお支払いいただきます。なお、保育短時間の場合は月額料金のお支払いはありません。													

主要事業

一時保育	×	—
園庭開放	○	月曜日～金曜日 9:30～11:30
その他		—

給食・アレルギー対応

給食	自園調理
アレルギー	○
弁当	×

保育料以外の料金

給食費 3～5歳	主食費：900円 副食費：4500円 ※0～2歳児の給食費は保育料に含む
おむつ 対応	自園処理
その他	（実費） 布団乾燥代（1回170円×月2回） スポーツ振興共済掛金（240円）保護者会費 遠足バス代 駐車場代（利用者のみ）等 （持ち物） 布団（全員）エプロン（0,1歳児） 上履き（幼児クラス）帽子（全員）着替え等



私立

公立

保育所

認定こども園

地域型保育事業所

幼稚園

保育理念・目標・方針など

- 保育理念：共に育とう心豊かに、安心して子育て
子育てができる保育所
- 保育方針：
- ・一人一人を大切にする保育所を
目指します
 - ・信頼関係を築き安心できる保育所を
目指します
 - ・様々な人との関わりを大切に、
地域にひらかれた保育所を目指します
- 保育目標：
- ・明るく元気な子
 - ・みんなと遊べる子



年間行事

はる

- ・入園式
- ・お友達になろうねの会
- ・こどもの日の集い
- ・交通安全教室
- ・保育参加・面談
- ・健康診断 ・歯科検診



なつ

- ・七夕
- ・夏野菜収穫
- ・クッキング
- ・夏のあそび



あき

- ・お月見会
- ・プレイデー（運動会）
- ・保育参加・面談
- ・遠足
- ・防火パレード
- ・健康診断



ふゆ

- ・クリスマス会 ・もちつき
- ・新年子ども会 ・節分子ども会
- ・はるまつり うさぎまつり
- ・ひなまつり会
- ・お別れ会
- ・卒園式 ・進級式



月間行事

- ・誕生会（誕生日当日）
- ・避難訓練
- ・身長体重測定
- ・保健指導（看護師より手洗い・プライベートゾーンなどの指導）



園外活動・特別活動など

- ・遠足（3・4・5歳児）
- ・プラネタリウム見学
- ・学校見学（5歳児）
- ・あじさいまつり参加
- ・かかしまつり
- ・狭山市民文化祭（新狭山公民館）参加
- ・農業祭



施設の特徴

新狭山保育所は、新狭山駅近くの閑静な住宅地に位置し、0～5歳児の子どもたちが生活や遊びを通して、色々なことを学び、元気いっぱいに過ごしています。また、公園に出かけたり電車を見たりと散歩コースも多く、さらに足をのぼすと自然豊かな奥富の河川敷に行くこともできます。子ども達は散歩を通して、四季折々の自然に親しみ、体を沢山動かして楽しんでいます。さらに地域のボランティアの方にアドバイスをいただき、畑活動も行っています。

5歳児になると、行事への取り組みを通して、友達と心を一つにする達成感を体験しています。そして、小さい子ども達は、大きい子の姿に憧れながら育っていきます。

また、地域の中の保育所として、中原公園で開催するあじさいまつりや公民館での市民文化祭への参加・子育て世代の交流の場として園庭開放を行う等、色々な方法で地域の方と関わり、ふれあいを楽しんでいます。